

堤防工事の進捗

■工事の進捗による地形の変化

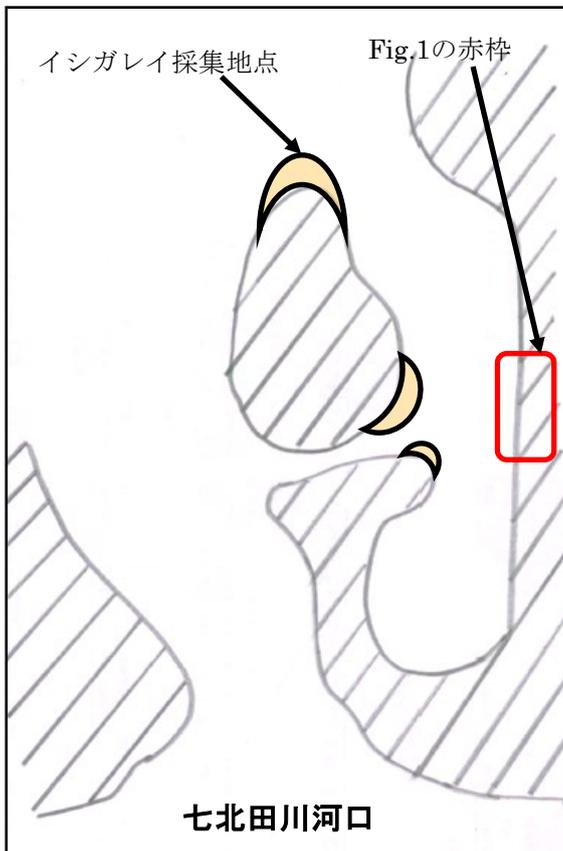
堤防工事が進み、1ヶ月で七北田川河口の姿は大きく変わった。Fig.1は七北田川河口の護岸を南側から撮影したものであるが、赤枠で囲んだ部分が先月イシガレイを採集した地点である（レポートNo185参照）。赤枠の部分で護岸の石の色が異なっているが、先月は黒い石しかなく白い石の部分には砂が堆積していた。1ヶ月で工事が進み、河口の砂浜付近まで石が積まれている。イシガレイ稚魚の採集は河口に堆積した砂の周辺で行ったが、13匹の稚魚を採集することができた。採集地点は、河口からの波の影響を受けない部分であった(Fig.2)。なお潟湖内では1匹も採集することはできなかった。



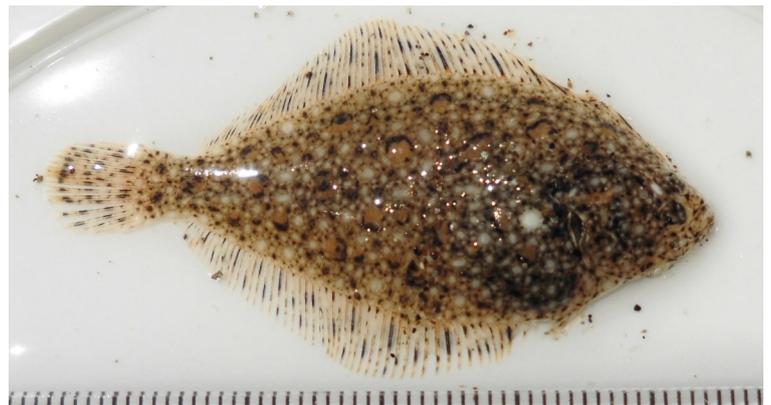
(Fig.1 七北田川河口)

全長(cm)	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
採集数	1	5	4	1	0	2

(Table.1 イシガレイの全長と採集数)



(Fig.2 イシガレイ稚魚採集地点)



(Fig.3 イシガレイ稚魚 最大の個体)



(Fig.4 イソギンポ)

初めてイソギンポの稚魚を採集した。生命の星・地球博物館、瀬能宏氏に同定していただいた。